

## 第 2 回 佐賀県・市町行政調整会議概要

- 1 日時：平成22年12月11日(土) 10時～11時30分
- 2 場所：県庁本館4階 正庁
- 3 出席者：市長会【横尾多久市長（会長）、坂井唐津市長（副会長）、秀島佐賀市長（役員）】  
町村会【田中江北町長（会長）、末安みやき町長（副会長）、武村大町町長（役員）】  
県 【古川知事、坂井副知事、古谷くらし環境本部長（協議事項6）、平子健康福祉本部長（協議事項1、2及び5）、牟田県土づくり本部長（協議事項3）、小池経営支援本部長（協議事項4）】

### 4 会議概要

#### (1)開会

#### (2)議事結果

協議事項1 子育て支援のための「子宮頸がん」対策について（継続）

- ・今回県から示した県と市町の役割分担については、市長会及び町村会からは異論なし。
- ・今回のワクチンの定期接種化や、積み残しになっている問題点については、様々なルートで地方の声として国に伝えていく。

## 協議事項 2 国民健康保険の広域化について（継続）

- ・ 県が12月下旬に広域化支援方針を提出することを報告。
- ・ 広域化等支援方針については、市長会及び町村会からは異論なし。
- ・ 知事より、現在国において議論されている新たな高齢者医療制度の県単位での運営主体に関し、全国知事会の状況について説明（県は国民健康保険の運営に対して一定の責任を果たしていくべきと考えていること、国に対しては今の財源スキームでは根本的な問題の解決にはならないということの理解を求めていくこと）。

## 協議事項 3 県営事業負担金及び補助金の廃止について（継続）

- ・ 今回県から示した「県土整備の負担の在り方連携会議」の設置及び議論のスケジュールについては、市長会及び町村会から異論なし。
- ・ 個々の事業の詳細については、1月以降に連携会議を開催し各首長の意見を聞いたうえで、実務者会議で事業担当者と意見交換を行い、まとまったものから順次決定していく。

## 協議事項 4 県から市町への権限移譲について（継続）

- ・ 市長会から、県から市町への権限移譲についての各市の意見を報告。
- ・ 権限移譲についてのPDCAサイクル（計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(act)のプロセスを順に実施し、継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法）を回していき、今後、さらに権限移譲を進めていく。

- ・ 今後は権限移譲協議会において実務者間での議論を行い、この場に報告。

#### 協議事項 5 公立病院の医師の確保について（町村会提出）

- ・ 町村会から公立病院の医師不足の現状が説明され、県に小さな病院にもお力添えをいただきたい旨の提案。
- ・ 県としては、各自治体においても医師にとって魅力ある病院を目指すことが重要であり、場合によっては病院の再編統合もやっけないといけないことも理解いただきたいことを説明。
- ・ この問題については、県として引き続き医師確保の取り組みを行い、市や町でも独自の取り組みや情報収集をしていただき、年に1回程度、報告と提案の機会をこの場に設ける。

#### 協議事項 6 社会的企業育成支援事業における連携について

（県提出）

- ・ 県から日本サードセクター経営者協会が主催する社会的企業育成支援事業「iSB公共未来塾」について事業概要を説明。
- ・ 今後、市長会及び町村会に詳細を示し、研修開催地を募っていく。

#### その他

- ・ 座長から「会議を欠席する場合等の取扱い」について提案を行い、構成員の了解を得た。ただし、特に重要な案件がある場合は要領によらない場合もあることが確認された。

- ・ 本来の旅館業と利用形態が違うグリーンツーリズムやお試し定住住宅については、旅館業法の運用について、柔軟な対応ができるよう検討をしてもらいたい旨の意見があった。

(3)閉 会